

## 5. 15 沖縄平和行進参加報告書

東北地方小名浜支部 副部長 渡邊健也

今回 5. 15 沖縄平和行進という全国規模の活動に初めて参加しました。沖縄本土復帰 50 周年という節目の年に参加できて本当に嬉しく思いました。コロナ禍の中で最善を尽くしてくれた沖縄の方々に感謝します。

平和祈念資料館に行き当時の写真を見たり、アメリカ軍の基地を視察したり、沖縄市街の平和行進という日程でした。

平和祈念資料館では戦争がどれだけ悲惨なものか見ることができました。当時、学生だった男の人が戦場に行かされたり、女の方は怪我の手当てや死体を運ぶなどの仕事をさせられたという過去を知ることができ、テレビでは放送できない程の過激な過去を学ぶことができました。実際に足を運び現地に行かなければ見られないもの、感じられないものがたくさんありました。今の平和というのは当たり前のことではなくロシア、ウクライナ問題のようにいきなり戦争が始まるかもしれないという危機感を持ち、平和の有り難みを改めて感じることができました。いかなる理由があろうとも武力による侵攻、侵略は許してはなりません。反戦運動はこれからもずっとずっと終わらないと思います。

視察では、米軍基地の多さに驚きました。見渡す限り基地があり、息苦しささえ感じました。実際に基地で働いている親族や友人がいるので「絶対反対」とは言えないと地元住民が言っていましたが、アメリカ軍の基地があることで騒音の問題や墜落事故があるという現状があり「米軍基地はいらない」と強く思いました。基地がなくなるまで反対し続けないといけないと思いました。

初めて全国規模のデモ行進をして、人数の多さに圧倒されました。地元でやるデモ行進以上に仲間意識を持たなければ完歩できない程、右翼からの妨害が激しかったです。半日の行進 8. 7 キロでしたが一步一步、沖縄住民の思いを込め全港湾として全員が全力で取り組めた行進になりました。

各地方、様々な問題があると思います。自分達は福島原発問題です。原発事故から 11 年が経ち風化し始めているのが現状です。原発事故に巻き込まれた周辺地域は、まだまだ復興とは言えない「今」があります。全国の仲間達にも現地に足を運び、目で見て感じて欲しいものがたくさんあります。今回の経験を家族、職場の仲間達に伝えてこれからの活動に活かしていきたいです。